

2. 「命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習」

(1) シラバス

		* 科目 No.	2123	
1. 開設大学名	広島大学			
2. 科目名	正式科目名	命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習		クラス名
	副題			配当年次
	旧科目名			
	学問分野	番号	33	名称
				農学
3. 担当教員名	谷田 創・黒川勇三・小櫃剛人・吉村幸則・磯部直樹・実岡寛文・上田晃弘・田辺創一・鈴木卓弥・高梨子文恵・沖田美紀・森元真理			
4. 単位数	2単位	5. 開講学期	前期集中	
6. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」☑. 「基礎知識を必要としない科目」			
7. 科目内容・授業計画	<p>広島大学東広島キャンパスには生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター西条ステーション（農場）があり、そこでは太陽の恵みを受けた大地で作物を作り、それらを飼料として家畜を繁殖、成長させてミルクや肉、羊毛を生産しています。また、畜産物や水産物を加工する食品製造実験実習棟と、動植物の精密実験圃場を有しています。命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習では、多くの教員及び農場技術職員の協力により、これらの施設を有効に活用して、草と家畜と土の循環のなかで乳や肉を生産し、さらに食品に加工していく過程を、講義、実習及び討論を通じて学ぶことで、他の生き物の命によって生かされている人間の存在について考えます。</p> <p>9/3（火）：集合・ガイダンス・農場の見学と説明&家畜のエサやりと乳搾り体験（農場） 夕食後：交流会（西条共同研修センター）</p> <p>9/4（水）：午前：家畜のエサやりと乳搾り体験（農場） 午後：作物（牛のエサ）収穫体験（圃場）&家畜のエサやりと乳搾り体験（農場）</p> <p>9/5（木）：午前：自分たちで搾った牛乳からヨーグルト製造（食品製造実験実習棟） &家畜のエサやりと乳搾り体験（農場） 午後：生命誕生の不思議を見る&家畜のエサやりと乳搾り体験（農場） 夕食後：体験発表会のための準備（西条共同研修センター）</p> <p>9/6（金）：午前：体験発表会（学部講義室） 昼食後解散</p> <p>※都合によっては、上記内容（日程を除く）に変更が生ずる場合があります。</p>			
8. 試験・評価方法	受講態度 60 点、発表 20 点、レポート 20 点で評価します。			
9. 別途負担費用	授業期間中の食事費等（1 万円以内）を現地で徴収します。集合場所までの旅費は自己負担です。開催 1 週間前以降のキャンセルについては食事代を、1 日前および実施期間中のキャンセルについては参加費用全額（1 万円以内）を支払っていただきます。			
10. その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●集合日時：9 月 3 日（火）の 13 時に JR 西条駅前に集合（昼食を済ませておいてください。）バスで大学まで送迎します。 ●傷害保険：事前に学生教育研究災害傷害保険（財団法人日本国際教育支援協会）相当の傷害保険に加入しておいてください。 ●持参物：医療保険証、作業着（つなぎ及び長靴は大学で用意します）、日よけ用の帽子、デジタルカメラ（あれば望ましい）、水に濡れたり汚れても構わない靴、エプロン（白衣でも可）、実習用タオル、筆記用具、宿泊に必要な身の回り品（洗面具、タオル、着替えを含む）等 ●やむなく欠席する場合は 1 週間前までに広島大学生物生産学部学生支援グループまで申し出てください。直前にやむなく欠席・遅刻する場合も、必ず連絡してください。 ●口蹄疫等の防疫対策の関係上、農場への立入りを制限しており、受講希望者のうち、海外渡航された方で帰国が演習開始前 1 週間以内の方については、参加をご遠慮していただく可能性があります。 ●本授業科目は、広島大学生物生産学部、広島大学他学部、他大学の非農学系学部の学生のために開講されるものです。 <p>【問合せ・連絡先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島大学生物生産学部学生支援グループ 〒739-8528 東広島市鏡山 1-4-4 TEL：082-424-7915 E-mail:sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp ・ 広島大学大学院生物圏科学研究科 教授 谷田 創 〒739-8528 東広島市鏡山 2-2965 TEL：082-424-7994 E-mail:htanida@hiroshima-u.ac.jp 			